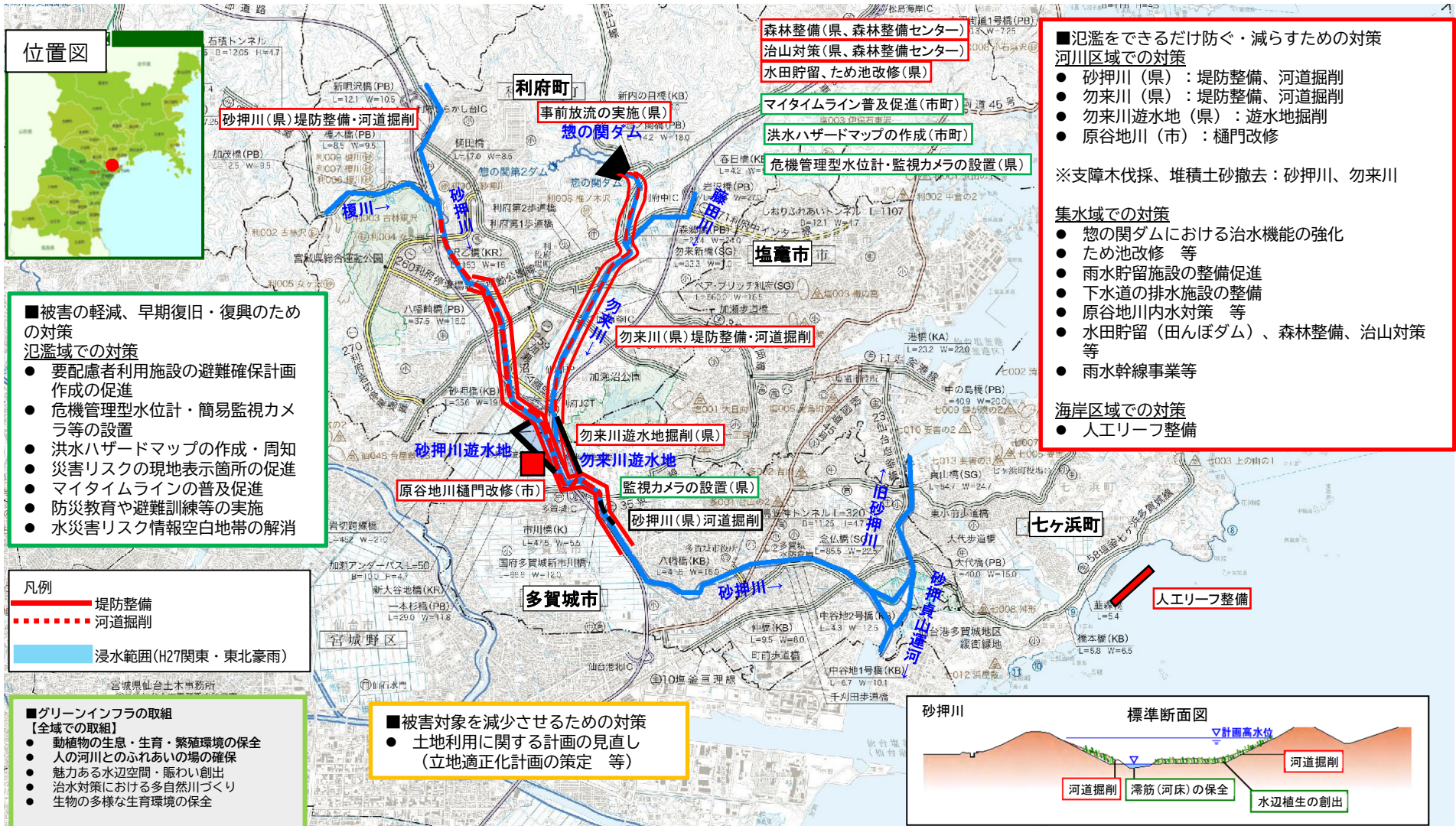


- 令和元年東日本台風では、県内各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、砂押川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 県、市町が連携し、以下の取組を推進していくことで、50年に一回程度の規模の降雨を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 砂押川水系では、各河川の上下流・支川の流域における地域特性を踏まえ、県・市町等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
  - 【短期】砂押川及び勿来川において、各遊水地上流における河道掘削などの河川改修を実施。
  - 【中期】勿来川上流河道改修の状況を把握しながら、適切な時期に勿来川遊水地の掘削を実施。
  - 【中長期】維持管理計画に基づき、河道状況を把握しながら適切に堆積土砂撤去・支障木伐採を実施。
- あわせて、流域市町が進めるまちづくりとの調整を図りつつ、安全なまちづくりや内水被害軽減対策（原谷地川排水樋門改修、雨水浸透貯留施設の新設等）や市街化の進展に伴う雨水流出量の増大を抑制する雨水貯留浸透施設整備の推進などの流域における対策、ハザードマップや河川水位等の情報発信などソフト対策を実施。

区分	対策内容	実施主体	工期		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削	宮城県	▶		
	堆積土砂撤去・支障木伐採	宮城県	▶	河道内の状況より順次実施	
	雨水貯留施設の整備 ため池改修、水田貯留	流域市町	▶		
	森林整備・治山対策等	宮城県 森林整備センター	▶		
被害対象を減少させるための対策	適正な土地利用の規制	流域市町	▶		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ソフト対策のための整備	宮城県	▶		
	避難体制等の強化 洪水ハザードマップの作成・周知	流域市町	▶		
グリーンインフラの取組み	治水及び利水面との調和 自然環境の保全	宮城県	▶		
	森林整備・治水対策等	宮城県 森林整備センター	▶		
	洗浄水の雨水利用	流域市町	▶		
	水生生物調査による環境学習	流域市町	▶		

# 砂押川水系流域治水プロジェクト

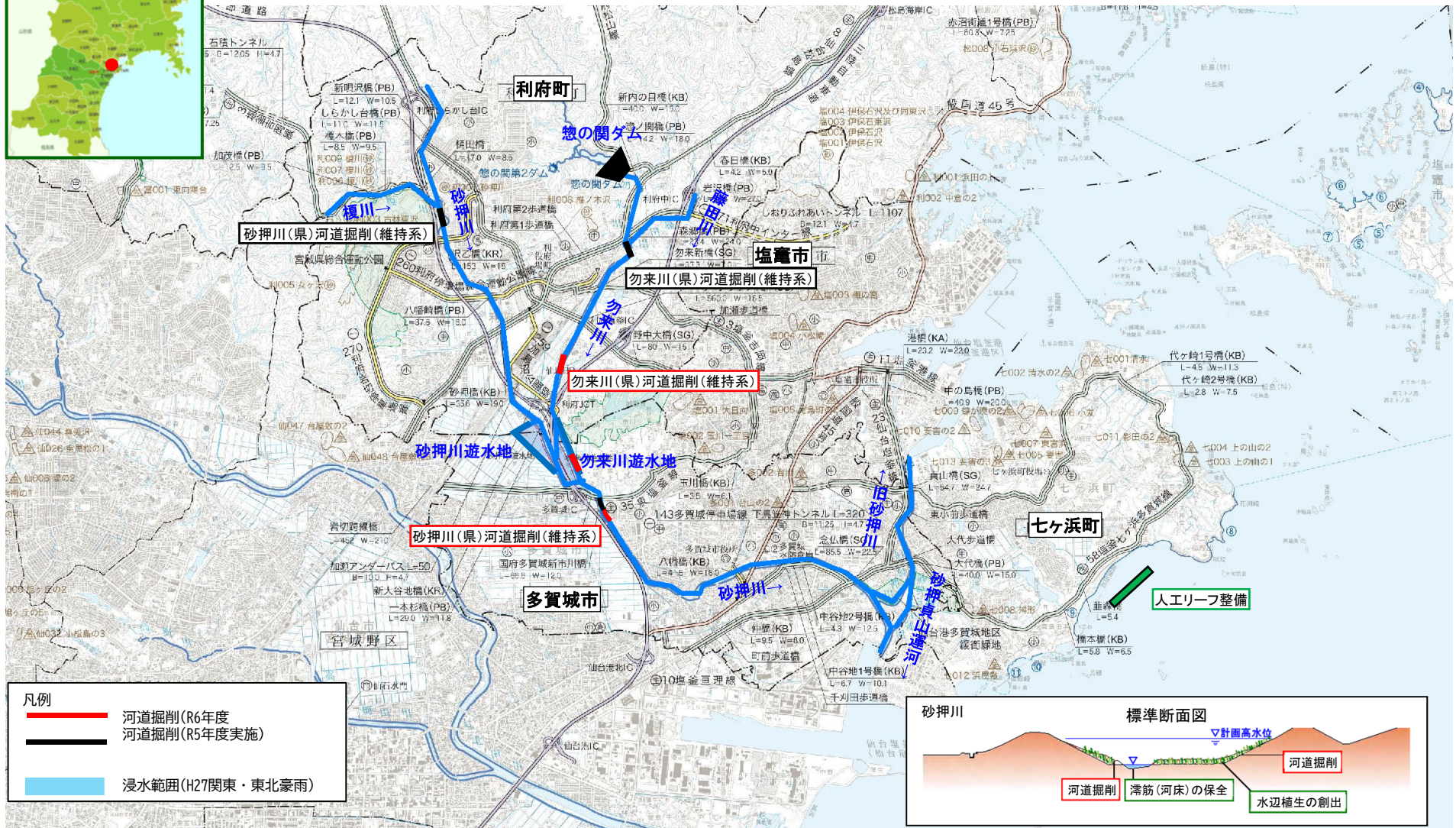
## ①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策



# ① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■ 令和5年度の実施箇所及び令和6年度実施予定箇所

位置図

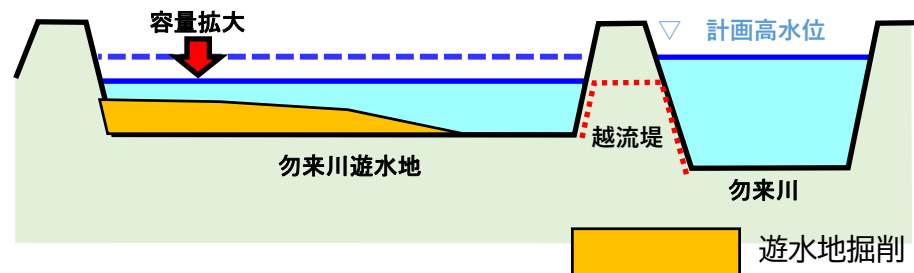
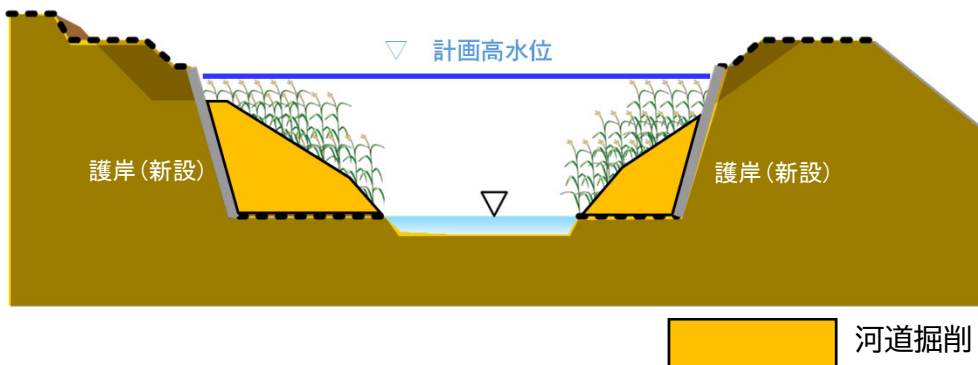




# ① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河道の断面積の確保のため「河道掘削」を継続実施。
- 勿来川遊水地における遊水地掘削を実施。

【河道掘削のイメージ】



砂押川（宮城郡利府町加瀬川迎地内）

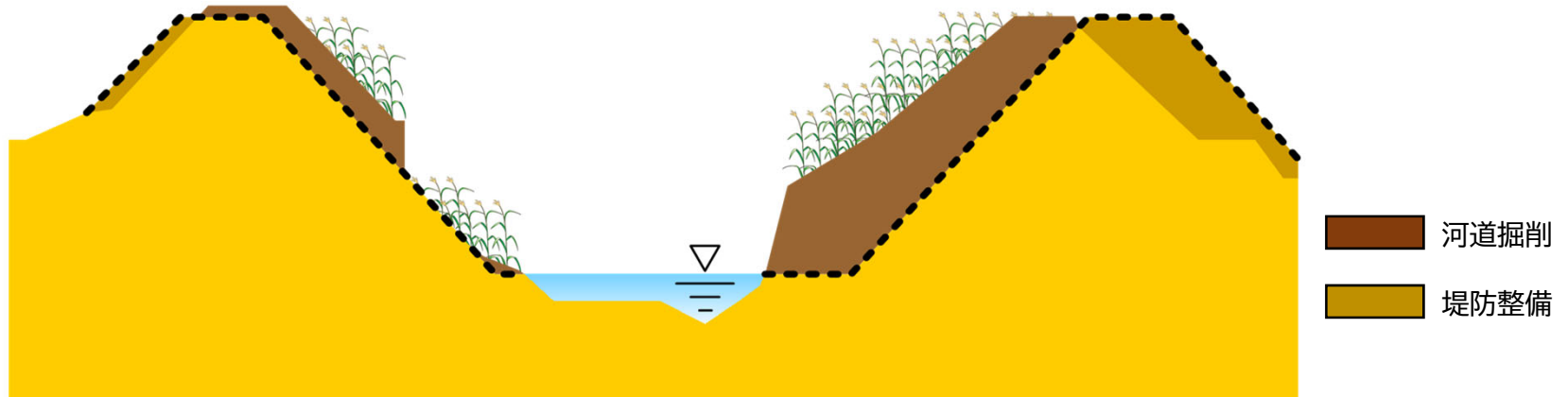


勿来川遊水地（多賀城市南宮地内）

# ① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■ 河道の目標流量を安全に流下させるため「堤防整備」を実施。

イメージ図



砂押川（宮城郡利府町沢乙地内）



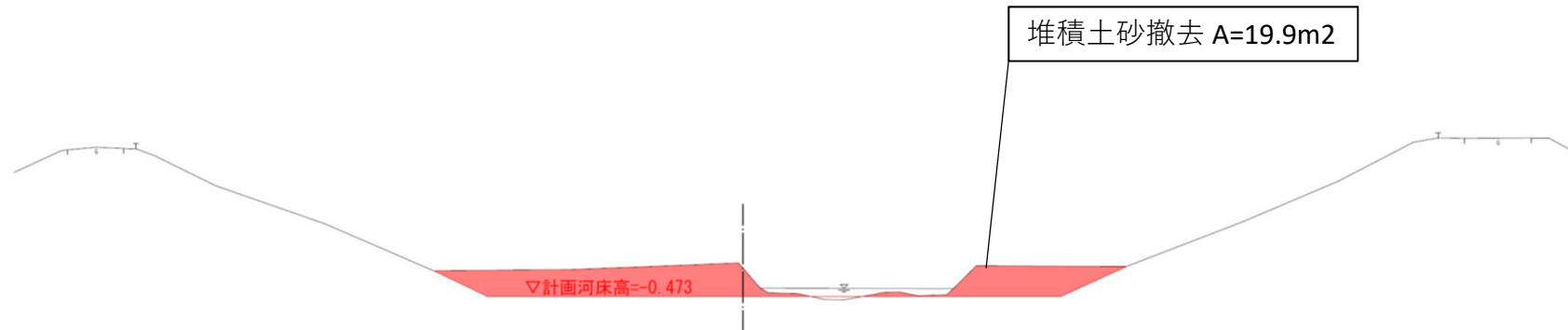
勿来川（多賀城市市川地内）



# ①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 市街地及び地方部も含めた堆積土砂撤去を計画的に推進。

## 堆積土砂撤去 (砂押川)



着工前



完成後



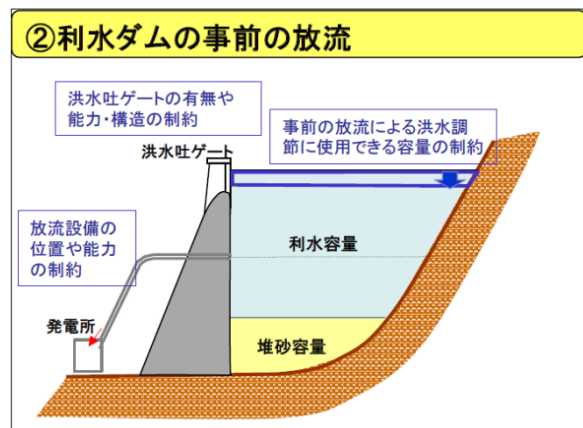
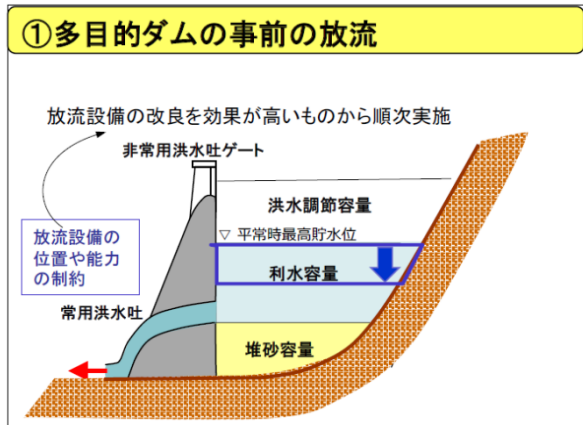
多賀城市市川鴻の池地内

# ①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

## ■ 惣の関ダムにおける治水機能の強化

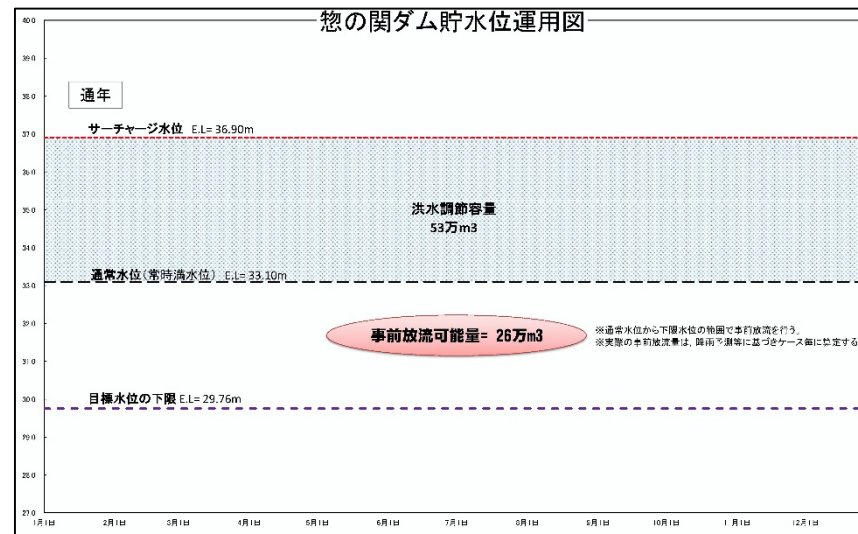
○ 洪水が予想される場合、既存の利水ダム等において貯留水を事前に放流し、洪水調節容量の強化を図る。

■ ダムの事前放流により洪水調節容量を確保することで、  
**ダム下流域の浸水被害の軽減を図るもの**



### < 治水協定概要 >

- ①洪水調節機能強化の基本方針
- ②事前放流の実施方針
- ③緊急時の連絡体制
- ④情報共有の在り方
- ⑤洪水調節機能強化のための施設改良が必要な場合の対応
- ⑥事前放流による深刻な水不足が生じないようにするための措置がある場合はその内容





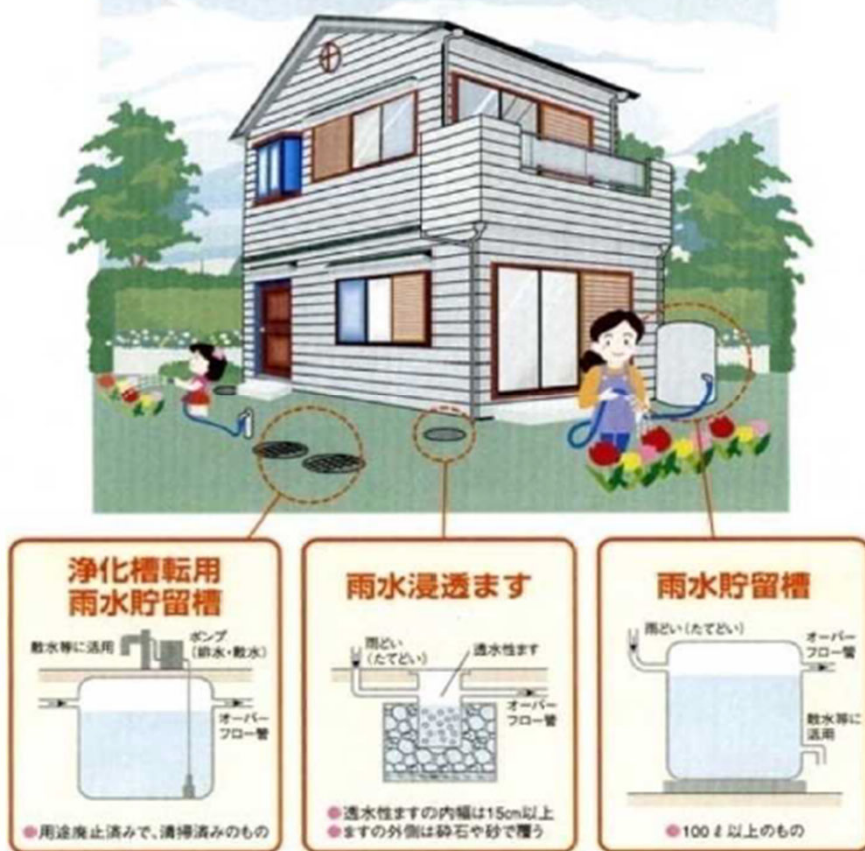
# ① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

利府町

## ■ 雨水貯留施設の整備促進・浸水対策のための雨水幹線事業等

- 土地利用と一体となった遊水機能の向上として、流域内の住宅敷地等を活用した様々な流出抑制対策を推進。

### 各戸貯留浸透施設（支援対象）のイメージ



出典：気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会 第3回資料

### <利府町の事例>

■ 利府町では、浸水対策のための雨水幹線事業に取り組んでおります。



令和4年度雨水幹線改修（着工前）

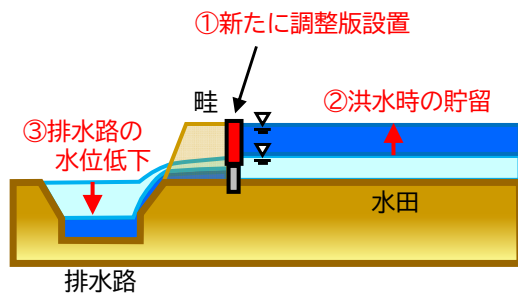


令和4年度雨水幹線改修（完成後）

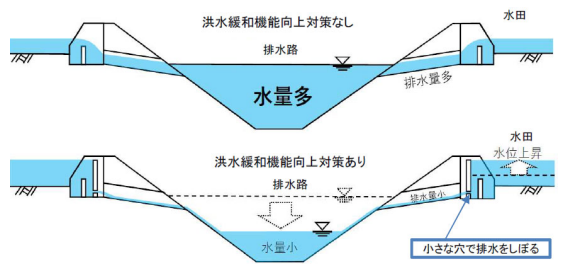
# ① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

## ■ 水田貯留（田んぼダム）の取組の推進

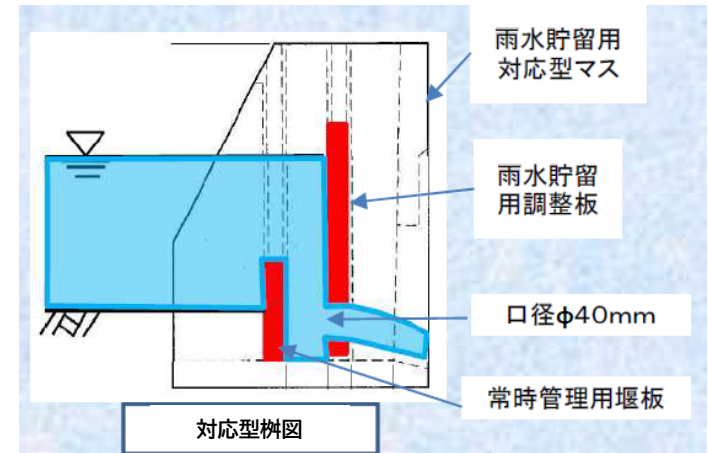
○ 当水系における、田んぼダムの取組拡大を図っていきます。



出典：近年の災害と今後の水災害対策について



○水田に水を溜め、転作田の排水を優先的に行うことで、転作作物の湛水被害を軽減できる。  
○田んぼから少しずつ排水していくことによって、排水路や排水機場にかかる負担を軽減できる。  
○雨水を一時的に田んぼに溜めることで、農地や市街地の洪水を減少させることができる。



## ■ ため池改修の取組の推進

○ 下流域への影響が大きい防災重点ため池において、防災工事の計画的な実施や適切な保全管理体制の整備を市町村・管理者等と連携して取り組んでいきます。

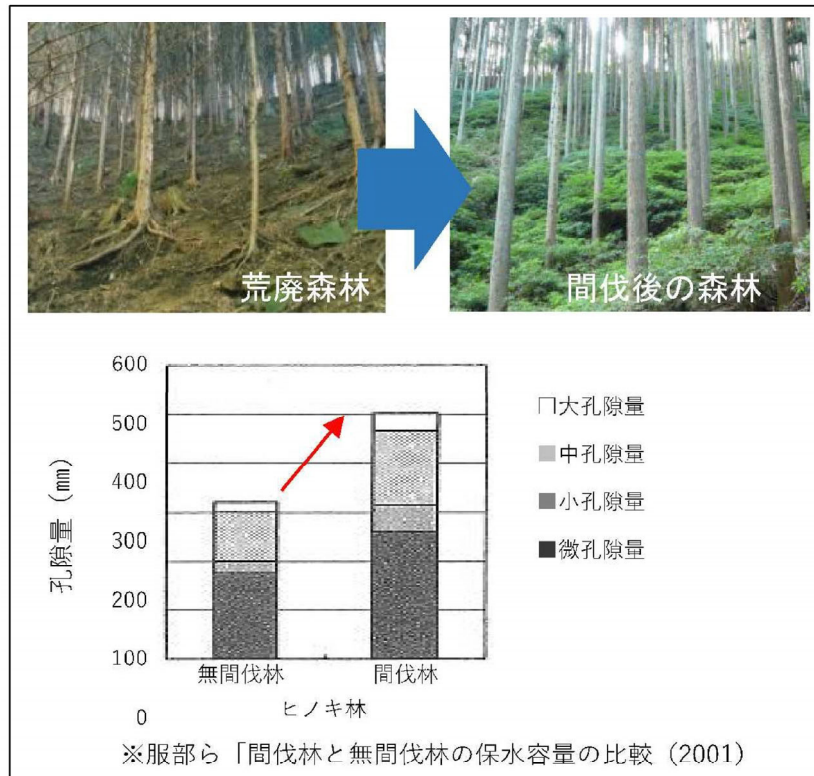


# ① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

## ■ 森林整備、治山対策

- 森林整備・治水対策を適切に進め、保水力をはじめとする森林機能の維持・向上を図る。
- 山林の開発に対して一定の規制を設けるなど、森林機能の保全を図る。

### 治山対策のイメージ



出典：林野庁

(事例) 宮城県登米市の森林整備事業

【登米市森林整備計画】



出典：  
登米市



【スギの再造林】



【間伐】

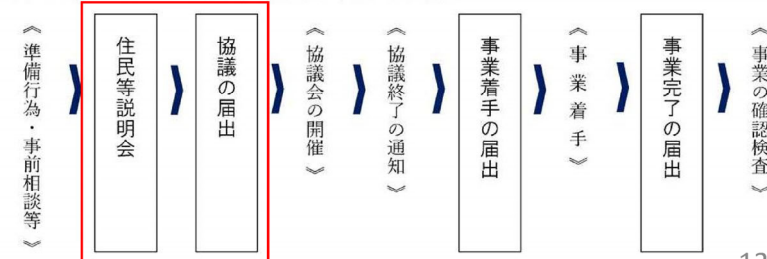
(事例) 宮城県富谷市の山林開発等に係る条例

### ■ 富谷市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例 (R1.10.17公布)

富谷市では、山林の開発の際などは、市との協議や住民への説明会実施を義務化している。

● 再生可能エネルギー発電設備設置に関する手続き

出典：富谷市



13

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 砂押川水系流域治水プロジェクト

## ②被害対象を減少させるための対策





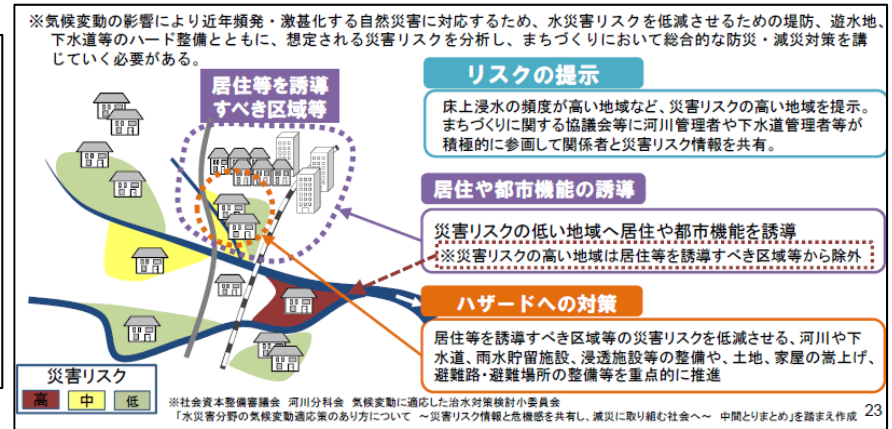
## ②被害対象を減少させるための対策

### ■ 土地利用に関する計画の見直し（立地適正化計画の策定 等）

○ 流域市町において、都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、居住機能や都市機能の誘導によりコンパクトシティ形成に向けた取組を推進する。



立地適正化計画イメージ図



関連する計画や他部局の関係施策等の整理について

### ～コンパクトシティ形成による効果の例～

一定密度の集約型市街地に  
～サービス産業の生産性向上～

■ ホームヘルパー1人当たりの  
サービス提供量が

○割増加



公共交通を利用しやすいまちに  
～中心市街地の再興に～

■ 中心市街地の消費額を

○○億円増加

マイカー利用者と公共交通利用者の消費行動比較

	マイカー	公共交通
中心市街地での平均滞在時間(分/日)	113分	128分
来街時に2店舗以上立ち寄る人の割合	30%	47%
中心市街地での平均消費金額(円/日・人)	9,207円	12,102円

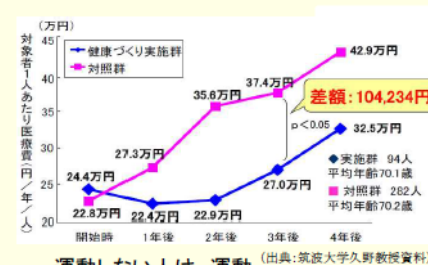
(出典:富山市資料)

マイカー利用者は、まちなかでの滞在時間が短く、消費も少ない

高齢者一人ひとりが元気に  
～地方財政の健全化へ～

■ 必要となる医療費を

○○億円削減



運動しない人は、運動する人より年間10万円も医療費が高い

## 砂押川水系流域治水プロジェクト

### ③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策





# ③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

## ■ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進

- 要配慮者利用施設の管理者の避難計画に係る理解向上を図り、計画の作成を支援する。

要配慮者利用施設における  
避難確保計画作成の手引き別冊  
(作成支援編・様式編)



平成28年台風第10号による被害状況



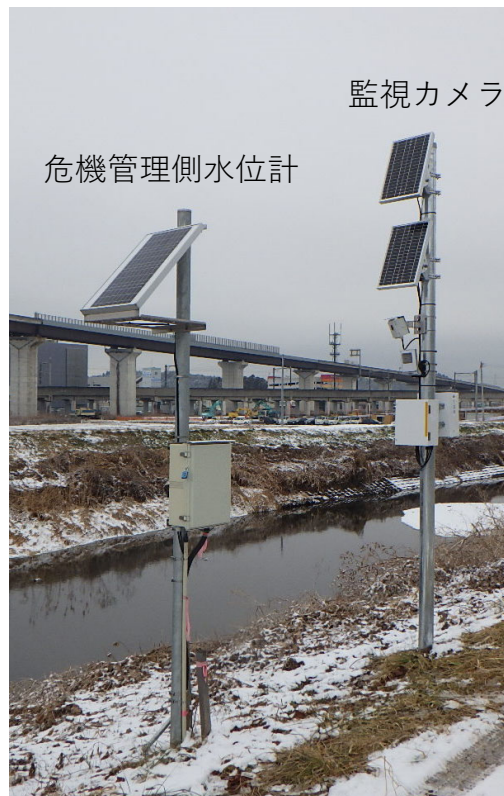
要配慮者利用施設  
管理者向け説明会

### ③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

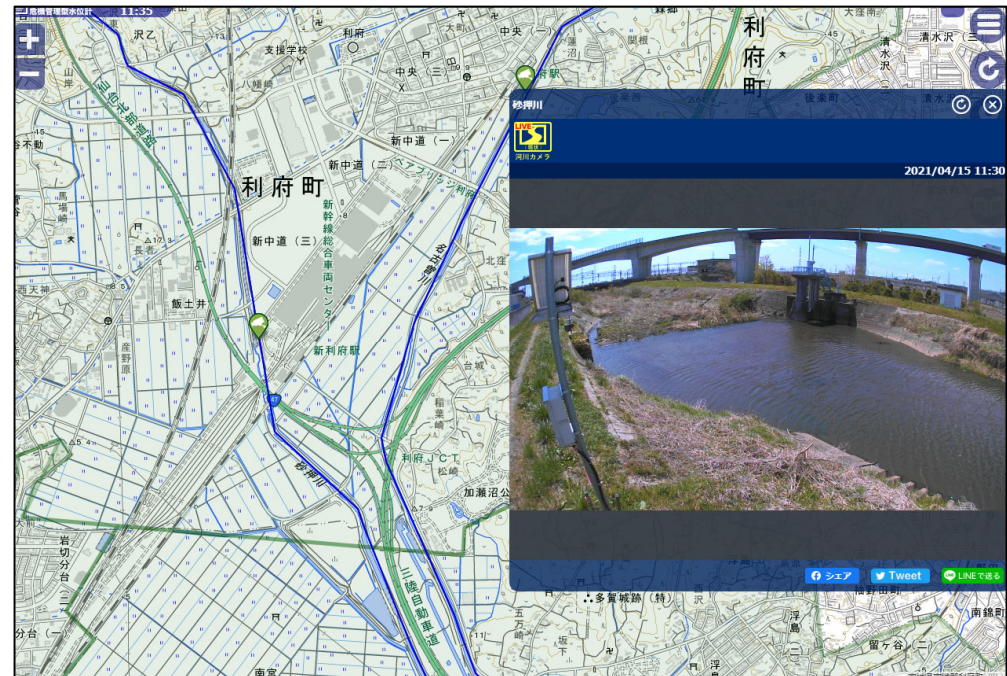
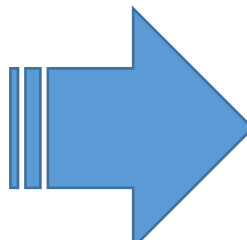
河川課

#### ■ 危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ等の設置

- 洪水に特化した低コストの水位計（危機管理型水位計）の整備促進
- 災害時に画像・映像による災害情報を発信し、適切な避難判断を促すため、簡易型河川監視カメラの整備促進



監視カメラ  
設置状況（砂押川）



配信映像（砂押川）

「川の水位情報」

<https://k.river.go.jp>

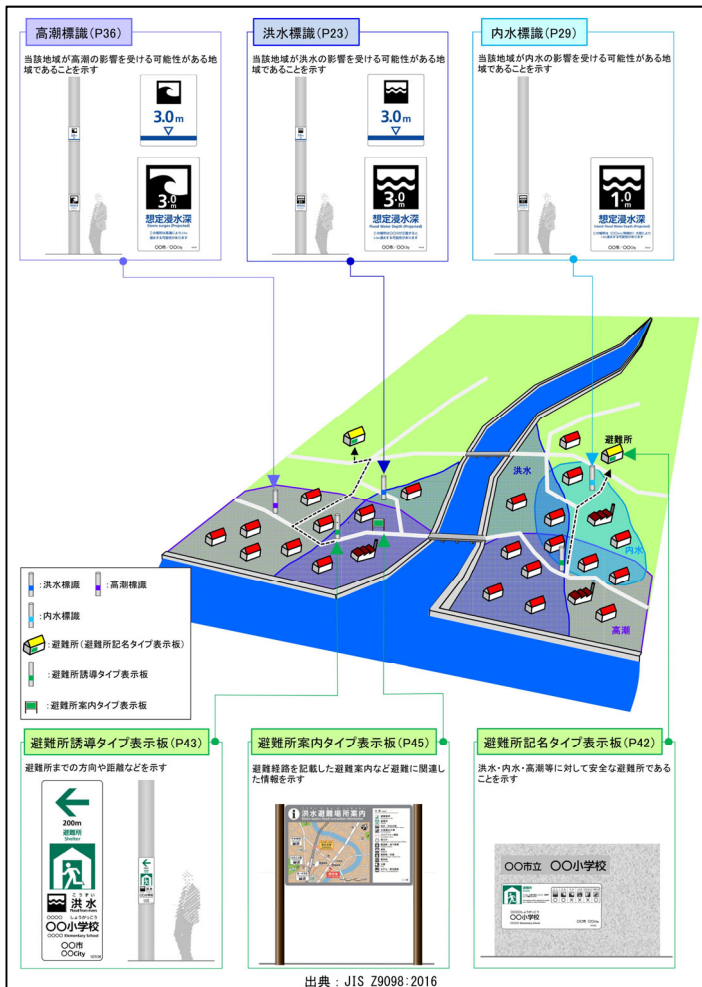




# ③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

## ■ 災害リスクの現地表示箇所の拡大を促進

○ 想定浸水深等の災害リスクをまちなかに表示することで、日頃から住民の水防災意識向上を図る。



過去洪水実績浸水深の掲示例  
(まるごとまちごとハザード  
マップ取り組み事例)



(新たに定住する住民に対しても、地域の水害の危険性を実感できる工夫)

# ③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

利府町

## ■ マイタイムラインの普及促進

○ 洪水時の住民の円滑な避難行動のため、マイ・タイムラインの作成を支援する。

### マイ・タイムラインのイメージ



出典：国土交通省関東地方整備局 下館河川事務所HP

### マイ・タイムライン

マイ・タイムラインを作ろう

台風や大雨のような風水害はあらかじめ接近を予測できる災害です。災害時にとるべき行動を家族と話し合って決めておきましょう。まずは①から③にしながら、避難について考えてみましょう。

① あなたの住んでいる場所は…

- 洪水浸水想定区域
- 河川のすぐそば（家屋の倒壊の危険）
- 土砂災害警戒区域
- 災害の予想がない区域（※1）

※1 災害の予想がない区域においても、降雨の状況によっては災害が及ぶ可能性があります。情報収集に努め、自らの判断で避難しましょう。

② 家族で避難場所を決めよう

- 利府町の指定避難所（ ）
- 親戚・知人宅（ ）
- 自宅の上階（ ）
- 頑丈な建物（ ）

③ 避難のタイミングを決めよう（※警戒レベル4までに必ず避難しましょう）

家族や近所で避難にかかる方（高齢の方・障がいのある方・乳幼児等）が

- いる ▶ レベル3で避難
- いない ▶ レベル4で避難

※ 次に、警戒レベルごとにとるべき行動を整理しましょう。

危険度	低	中	高		
警戒レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
避難情報など	気象庁が発表	気象庁が発表	高齢者等避難（※2） 利府町が発令	避難指示 利府町が発令	緊急安全確保（※3） 利府町が発令
防災気象情報	早期注意情報	洪水注意報、大雨注意報 など	氾濫警戒情報、洪水警戒 など	氾濫危険情報、土砂災害警戒情報 など	氾濫発生情報、大雨特別警戒 など
町民の皆さんがとるべき行動	災害への心構えを高めましょう。	自らの避難行動を確認しましょう。	危険な場所から高齢者等は避難しましょう。	危険な場所から全員避難しましょう。	レベル4までに必ず避難！ ただちに安全を確保しましょう。命の危険がある状況です。
必要な行動にチェックをつけよう。	<input type="checkbox"/> 天気予報を確認する ( ) <input type="checkbox"/> 家を点検する ( ) <input type="checkbox"/> 外にある枯木鉢などを家の中に移す ( ) <input type="checkbox"/> 非常持出品や備蓄品を確認する ( ) <input type="checkbox"/> 常備薬を確認する ( ) <input type="checkbox"/> 避難手段を確認する ( ) <input type="checkbox"/> 携帯電話を充電する ( ) <input type="checkbox"/> 家族の行動を確認する ( ) <input type="checkbox"/> 親戚や近所の人に連絡する ( ) <input type="checkbox"/> 利府町のホームページを確認する ( ) <input type="checkbox"/> 防災行政無線をよく聞く ( )	<input type="checkbox"/> 天気予報を確認する (父) ( ) <input type="checkbox"/> 家を点検する (母) ( ) <input type="checkbox"/> ( ) ( ) <input type="checkbox"/> ( ) ( ) <input type="checkbox"/> ( ) ( )	<input type="checkbox"/> テレビやラジオをつけた状態にする ( ) <input type="checkbox"/> 家族と連絡を取り合う ( ) <input type="checkbox"/> 避難所の開設状況を確認する ( ) <input type="checkbox"/> 非常持出品を準備する ( ) <input type="checkbox"/> 動きやすい服装に着替える ( ) <input type="checkbox"/> 戸締りをする ( ) <input type="checkbox"/> ガスの元栓を閉める ( ) <input type="checkbox"/> プレーカーを落とす ( ) <input type="checkbox"/> 隣近所に声を掛け合う ( ) <input type="checkbox"/> レベル3で避難する ( ) <input type="checkbox"/> レベル4で避難する ( ) <input type="checkbox"/> ( ) ( ) <input type="checkbox"/> ( ) ( ) <input type="checkbox"/> ( ) ( )	<input type="checkbox"/> 家の上階階へ移動する ( ) <input type="checkbox"/> ( ) ( ) <input type="checkbox"/> 近くの高い建物へ移動する ( ) ( ) <input type="checkbox"/> ( ) ( ) <input type="checkbox"/> ( ) ( ) <input type="checkbox"/> ( ) ( ) <input type="checkbox"/> ( ) ( )	

※2 高齢の方以外の人も必要に応じて、避難の行動を聞き合わせ避難の準備を促しながら自らの判断で避難するタイミングです。  
※3 利府町が発令するすべての防災無線でも、電波にもあることから、必ず聞けるものではありません。

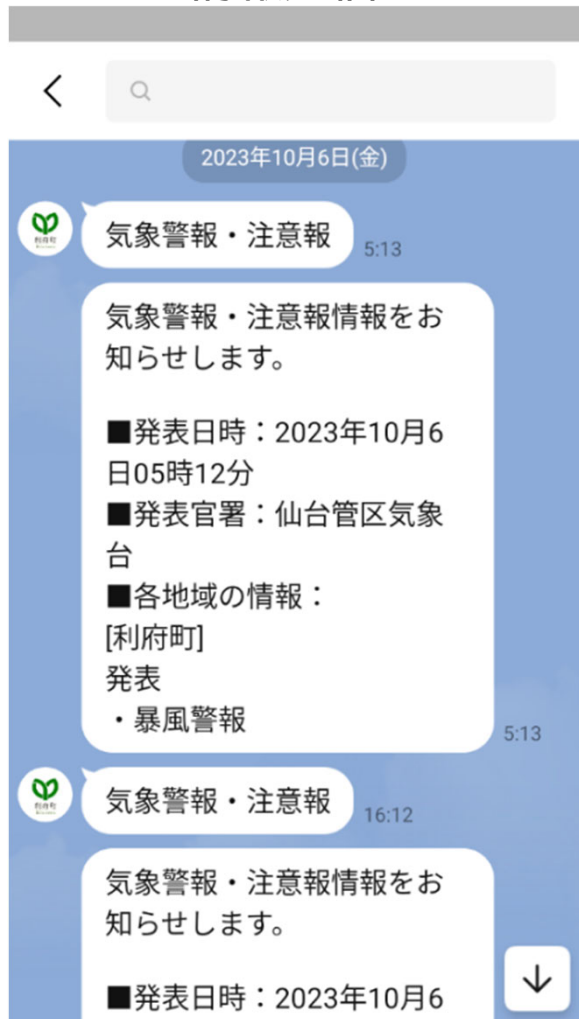
例：利府町のマイタイムライン作成様式



# ③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

## ■ 防災教育や避難訓練等の実施

### 利府町lineアプリによる 情報発信



利府町  
総合防災訓練の様子



利府町  
職員防災訓練の様子

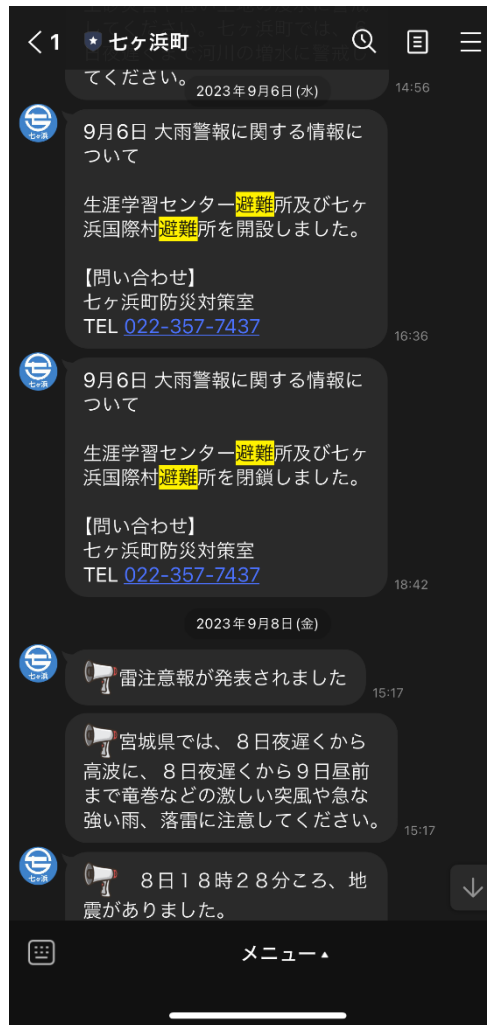


# ③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

七ヶ浜町

## ■ 防災教育や避難訓練等の実施

### 七ヶ浜町 メールによる情報発信



### 総合防災訓練の様子





# ③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

## ■ 水災害リスク情報空白地帯の解消

○ 令和3年の水防法改正により、洪水予報河川及び水位周知河川に加え、**一級河川や二級河川のうち、住宅等の防護対象のあるものについて指定対象に追加し**、水害リスク情報の解消を目指す。

### ■ 令和7年度までに、水害リスク情報空白地の解消を図る。

令和7年度までに、水害リスク情報空白地の解消を図る  
(第5次社会資本重点整備計画)

### ■ 洪水浸水想定区域の指定状況 (R6.5時点)

水位周知河川：砂押川  
中小河川：砂押川上流延伸、榎川、勿来川、藤田川

図：砂押川水系砂押川の洪水浸水想定区域図